

Be Fine!

株主の皆様とシスメックスをつなぐコミュニケーション誌

持続可能な社会へ ④

責任ある製品・サービスの提供 5ページ



ヴィクトリアの滝（ジンバブエ共和国とザンビア共和国の国境）→ 4ページご参照

国内・海外ともに伸長し増収となるも、
円高の影響などにより
利益は前年同期を下回りました。

代表取締役会長兼社長 CEO

家次恒

いえつぐ ひさし

【出身地】大阪【略歴】大学を卒業後、銀行に13年間勤務。その後、東亜医用電子株式会社（現シスメックス株式会社）に入社。1996年に代表取締役社長、2013年に現職に就任。【趣味】読書、スポーツ観戦【信条】「意あらば通ず」



ポイント
1

各地域でヘマトロジー分野*などを中心に伸長し、増収を達成

ポイント
2

四半期利益*は、為替差損の影響や税負担率の増加などにより減益

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社グループの2020年3月期第3四半期の業績は、各地域でヘマトロジー分野や免疫検査分野を中心に伸長し、円貨ベース・現地通貨ベースともに増収を達成しました。一方で、円高の影響や、バイオ診断薬拠点の新設に伴う研究開発費の増加などにより、営業利益は減益となりました。また、為替差損の影響や税負担率の増加などにより、四半期利益も減益となりました。売上高は前年同期比4.7%増、営業利益は同5.0%減、四半期利益は同8.3%減となりました。なお、前年同期の為替レートを適用した場合、売上高は前年同期比9.2%増、営業利益は同2.6%増となります。

国内は、ヘマトロジー分野における機器・試薬の売上増加や、血液凝固検査分野において新製品の売上が好調に推移したことなどにより、増収となりました。海外は、ヘマトロジー分野、尿検査分野、免疫検査分野を中心に試薬の売上が伸長し、

増収となりました。これらの結果、当社グループの海外売上高比率は84.4%となりました。

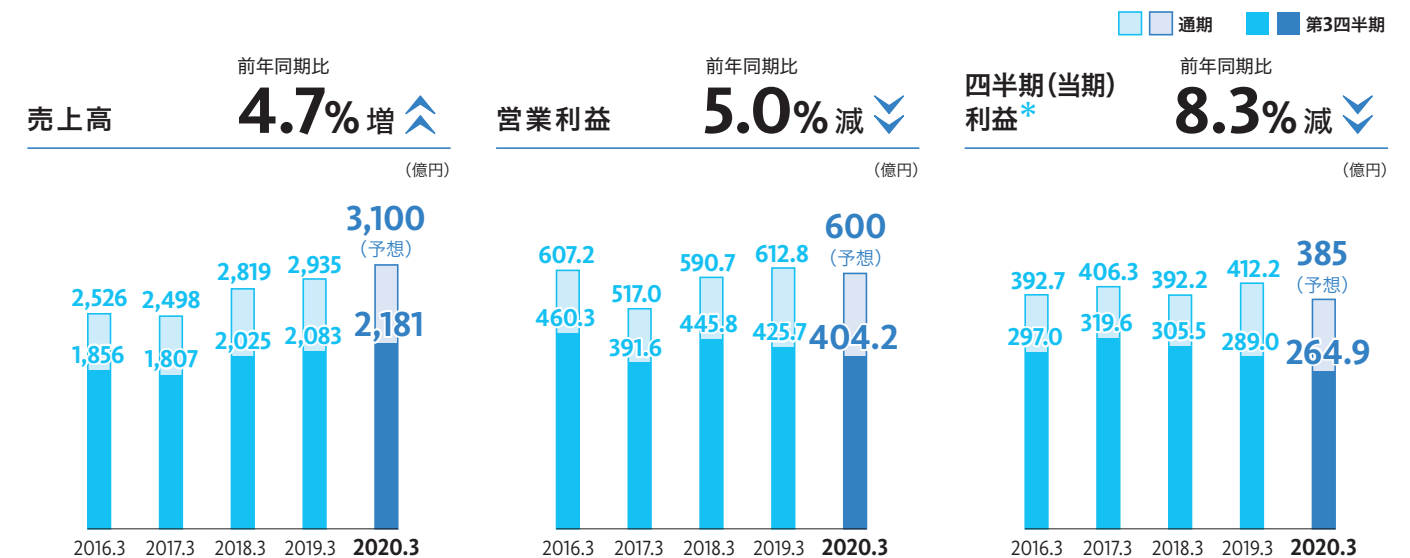
なお、2019年11月に公表した2020年3月期通期の連結業績見通しに変更はありません。*

第3四半期のトピックスとして、エーザイ株式会社と共同開発を進めている、血液を用いたアルツハイマー型認知症の診断方法に関して、第12回アルツハイマー病臨床試験会議で学術報告を行いました（詳細は、裏表紙のトピックスをご参照）。今後も認知症の予防および治療に対する新しい診断技術の創造に取り組み、医療の発展と進化に貢献することで、患者さんとそのご家族のQOL（生活の質）向上の実現を目指します。

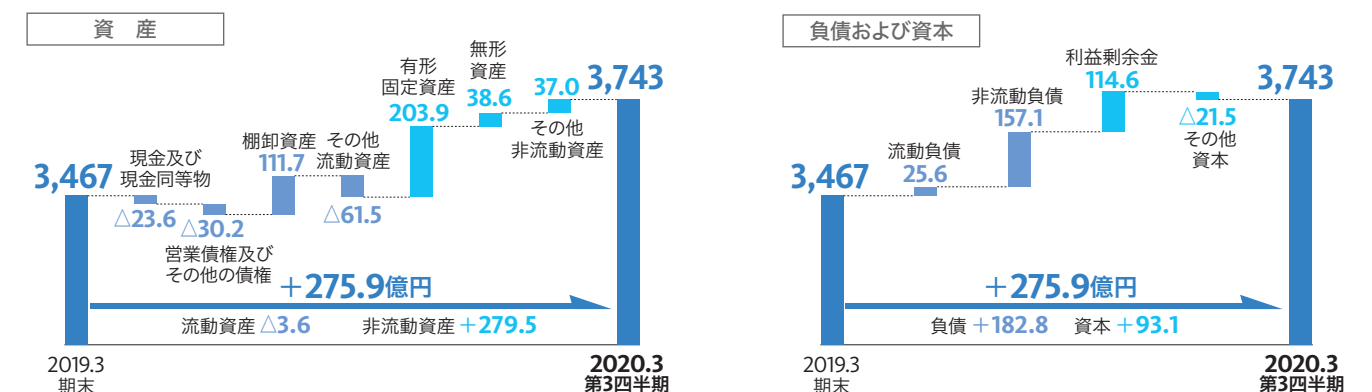
株主の皆様には、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

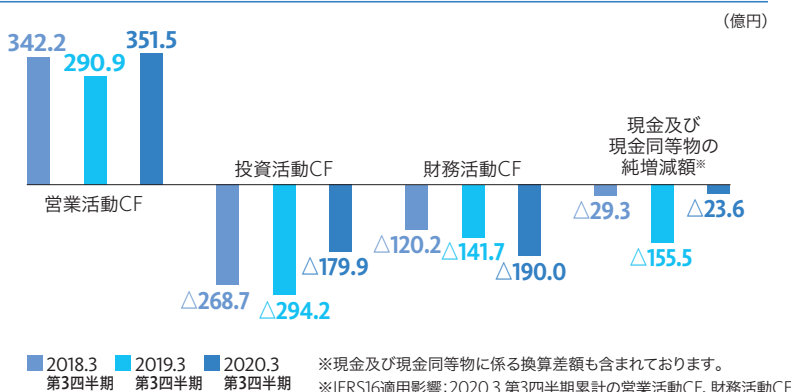
*ヘマトロジー分野：血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。



連結財政状態計算書の増減要因



キャッシュ・フローの推移

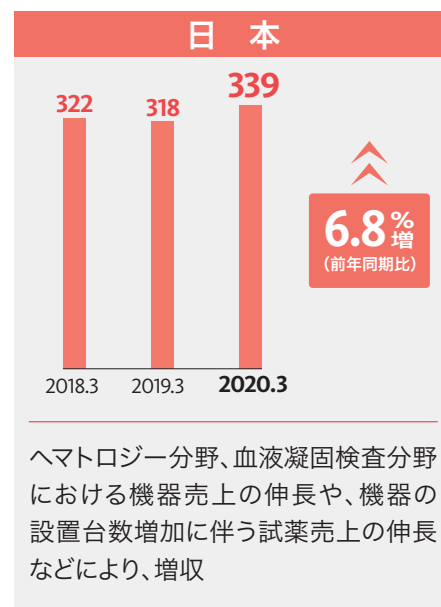
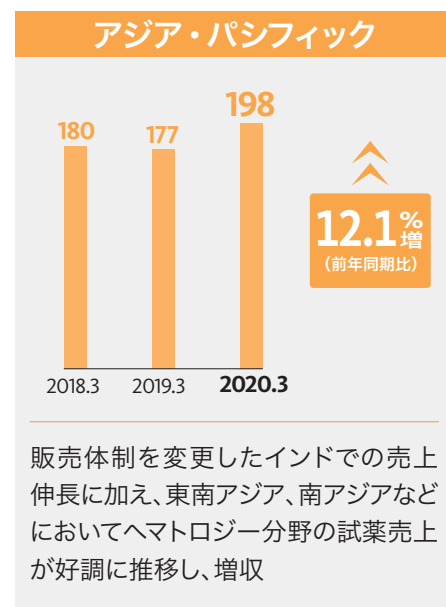
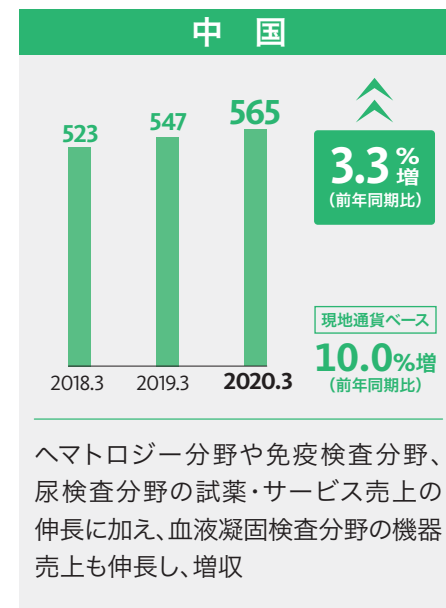
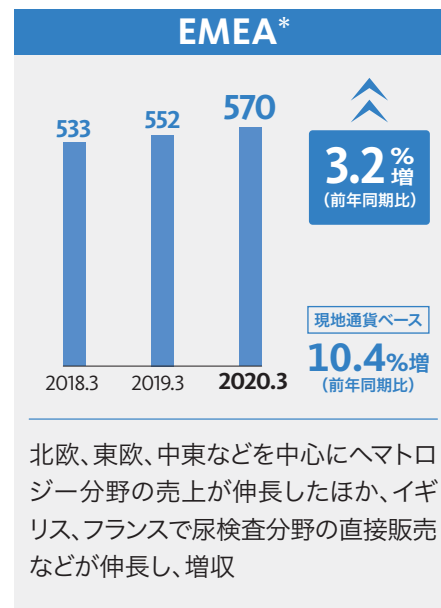
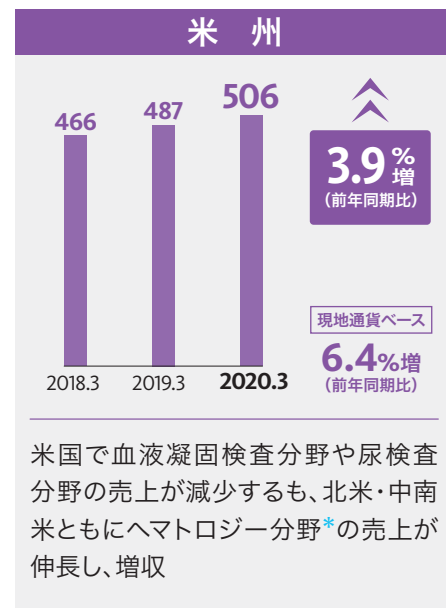


利益配分（配当）に関する考え方について

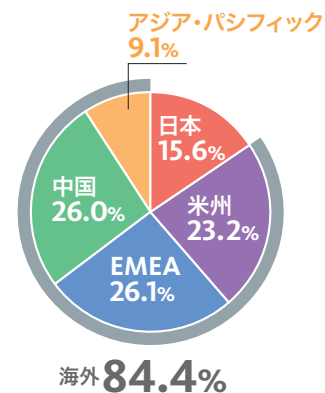
当社は、安定的な高成長を持続させるための積極的な投資と、収益性の向上に伴う株主の皆様に対する利益還元との適正なバランスを確保することを目指しております。株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配分を行うという基本方針のもと、連結での配当性向30%を目処に配当を行ってまいります。

*四半期(当期)利益：親会社の所有者に帰属する四半期(当期)利益。

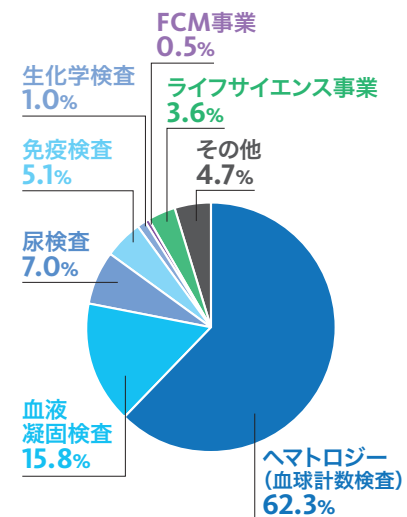
■地域別売上高 (億円) ※第52期 期末株主通信までは所在地別にて掲載していましたが、今期より地域別での掲載へ変更しております。



■地域別売上高構成比

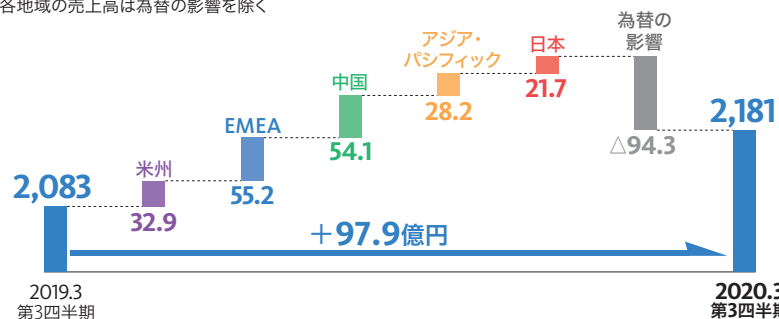


■事業別売上高構成比



■地域別売上高の増減 (億円)

※各地域の売上高は為替の影響を除く



■為替レート (円)

	2018年3月期 第3四半期	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期
1 USドル	111.7	111.1	108.7
1 ユーロ	128.5	129.5	121.1
1 中国元	16.6	16.6	15.6

グローバルレポート

「第7回アフリカ開発会議」の公式サイドイベントに出展

8月28日～30日にパシフィコ横浜で開催された「第7回アフリカ開発会議 (TICAD7)」の公式サイドイベント「日本・アフリカ ビジネス EXPO」の「ジャパン・フェア」に企業ブースを出展しました。「ジャパン・フェア」は、アフリカの持続的な成長に資する日本企業の製品・技術・サービスを展示するイベントで、TICAD7に出席したアフリカ諸国の首脳や国際機関の関係者をはじめ、さまざまな分野の方々が来場されました。

アフリカの人口は、今後も増加が見込まれており、2050年には現在の約2倍の20億人を超えると予測されています。一方で、アフリカには感染症の蔓延な

どの医療課題を抱えている国が多数あり、積極的な支援が必要とされています。シスメックスは、南アフリカ共和国、ガーナ、ブルキナファソ、ナイジェリア、エジプトの5カ国に現地法人を保有し、アフリカ全土に製品・サービスをお届けできるネットワークを構築しています。そして、製品・サービスの提供や現地での人材育成などを通じて、医療の質向上を支援しています。

今後も医療課題の解決に向けた取り組みを進め、高い市場成長が期待されるアフリカでシスメックスの価値を向上させるとともに、グローバルに事業を展開する企業としての責務を果たしていきます。

「アフリカ開発会議 (TICAD)」とは…

日本政府主導のもと、国連、国連開発計画、アフリカ連合委員会、世界銀行と共同で開催される国際会議。7回目となる今回は民間企業も参加し、官民が連携してアフリカの成長を議論する場となりました。



「ジャパン・フェア」でのシスメックスの展示ブース



○シスメックスの現地法人

アフリカにおけるシスメックスの取り組み事例

検査室の品質向上を支援

5つの現地法人にあるトレーニングセンターでの研修などを通じた医療人材育成の支援や、国際基準 (ISO 15189) に適合した検査室の品質管理体制の構築をサポートしています。



感染症の診断に貢献する製品を提供

HIV感染者の治療方針の決定を補助するシステムの提供に加え、三大感染症の一つであるマラリアの検査を支援する製品の市場導入も進めています。



シスメックスはアフリカの医療の発展に貢献しているんだね

このような取り組みを、たくさんの人に紹介したのよ



責任ある 製品・サービスの提供

持続可能な社会を実現し、社会とともに発展し続ける企業であるための、シスメックスのサステナビリティ(持続可能性)への取り組みについて紹介する当シリーズ。今回は、シスメックスが優先的に取り組むべきと考えている課題のうち、「責任ある製品・サービスの提供」について解説します。

関連するSDGs*



社会背景

人々の生命と健康を守るために、 医療機器に求められる確かな品質

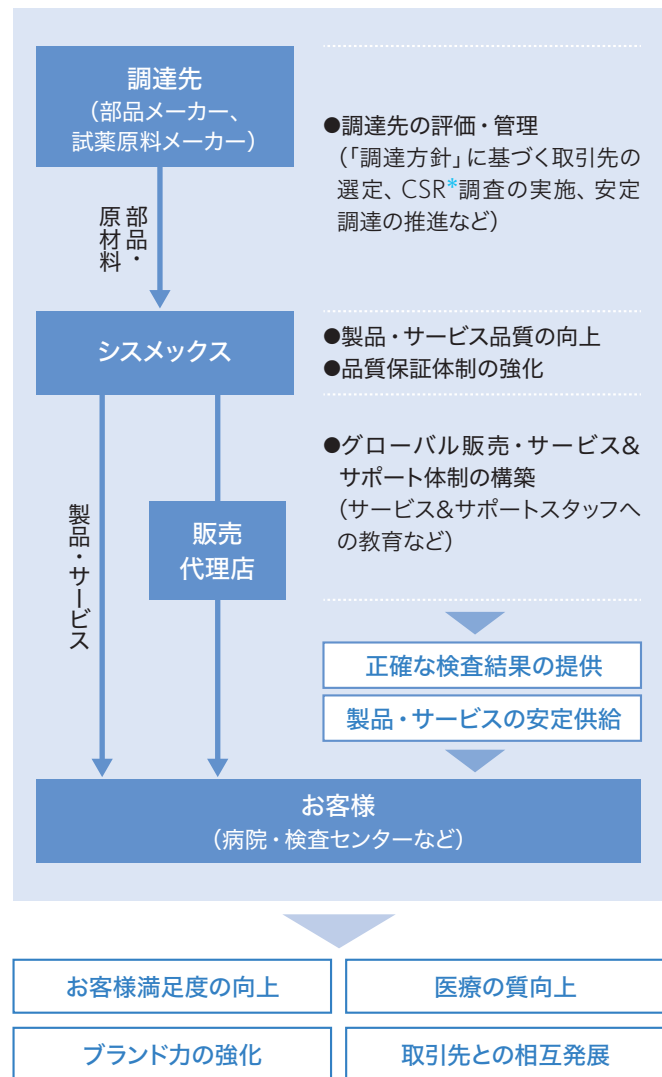
診断や治療に用いられ、人々の生命と健康に関わる検体検査*には、常に高い品質が求められます。シスメックスにとって、製品・サービスの品質・安全性を確保することは、ステークホルダーの皆様から信頼を獲得し、持続的な成長を図るうえで不可欠です。また、近年、企業の責任範囲は調達先を含めたサプライチェーン全体に拡大しており、SDGsにおいても、製造責任に関する目標が掲げられています。

シスメックスの取り組み

高品質な製品を安定供給するための 取り組みを推進

シスメックスは創業以来、確かな品質の製品をお届けすることで、お客様満足度の向上に努めてきました。世界中のお客様に安心して製品をご使用いただけるよう、グローバルに品質マネジメントシステムを整備し、継続的な品質の維持・向上を図っています。また、調達先や販売代理店などの取引先も含め、事業活動全体で、高品質な製品を安定的にお届けするための体制を構築。メーカーとしての供給責任を果たすとともに、製品の品質向上によるブランド力、競争力の強化にも努めています。

■お客様に安心して製品をご使用いただくための主な取り組み



事例 1

品質の向上を実現する体制をグローバルに構築

製品の開発段階で世界各国の安全規制を満たすことはもちろん、グループ全体で製品に関する品質の維持・向上に取り組んでいます。各地域の統括拠点を中心に、品質保証・薬事部門を設置。グローバルで約200名の専任スタッフが、各国の法規制への対応や品質保証を行っています。品質に関する情報は、世界各地の拠点からタイムリーに収集し、一元管理を進めているほか、グローバルミーティングの場でも共有しています。



品質保証・薬事部門のスタッフ 約200名



品質保証・薬事に関するグローバルミーティング

事例 2

サービス&サポート品質の向上に向けた教育に注力

製品の品質維持に欠かせないサービス&サポートに関わる世界中のスタッフが、適切な技術や知識を習得できる仕組みを整えています。各地域の統括拠点のトレーナーが、日本のスペシャリストから直接トレーニングを受講。その後、彼らが講師となり、地域内でサービス&サポートを担う従業員に加え、販売代理店のサービス&サポートスタッフにも習得した技術や知識を伝えています。

■サービス&サポートの技術伝達



事例 3

取引先とともに、CSRに配慮した調達活動を推進

調達活動における環境配慮の基本的な考え方として「グリーン調達基準」を制定しているほか、児童労働の有無や職場環境の確認などを含むCSR調査を実施し、CSRに配慮した調達活動を推進しています。また、取引先説明会を開催するなど、継続的なコミュニケーションを実施することで、取引先と信頼関係を構築し、ともに発展していくことを目指しています。



取引先 (重要な一次取引先の数) 約300社



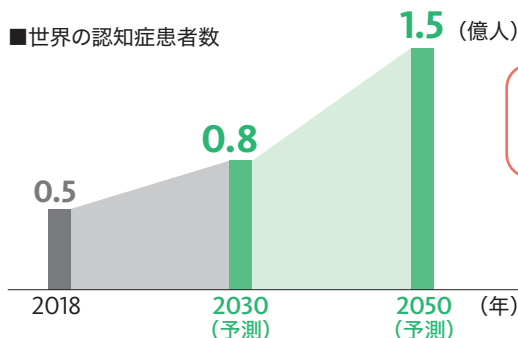
創立50周年を機に「感謝と挑戦」をテーマに開催した取引先説明会

シスメックスは、今後も責任ある製品・サービスの提供を通じてお客様に安心をお届けし、ステークホルダーの皆様からの信頼を獲得していきます。

血液検査でアルツハイマー型認知症を診断する方法の創出に向けた最新の研究成果を発表

世界の認知症患者さんの数は、2030年には8,200万人、2050年には1億5,000万人に達すると予測されています。なかでも「アルツハイマー型認知症」は、認知機能障害が現れる前から、「アミロイドベータ(以下Aβ)」というタンパク質の固まりが脳内に蓄積することが引き金となり発症すると考えられています。そのため、Aβを標的とする治療法では、早期診断・早期介入が有効性を高めると考えられていますが、現在、Aβの蓄積状態を調べるために行われている脳画像検査(PET検査)や脳脊髄液検査は、高額で検査できる施設も限られ、患者さんの身体への負担が大きいことが課題です。

シスメックスは、従来の検査に比べて負担の少ない血液検査によるアルツハイマー型認知症の診断方法の開発などに向け、エーザイ株式会社と共同研究を進めています。その最新の研究成果を、2019年12月に米国で開催されたアルツハイマー病臨床試験会議で発表しました。今後も研究開発を進め、認知症の予防や診断、治療に新たな価値を提供することを目指します。

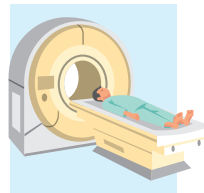


高齢化などを背景に世界中で患者さんが増え続けているの



従来の検査方法

脳画像検査



脳脊髄液検査



- 検査費用が高額
- 検査できる施設に限られる
- 患者さんの身体にかかる負担が大きい

開発中の新たな検査方法

血液検査



- 安価で簡便(短時間)
- 患者さんの身体にかかる負担が少ない

今回の発表内容

開発中の新たな検査方法で血中アミロイドベータの量を測定した結果と脳画像検査の結果を比較したところ、高い一致度があることが分かりました

会社概要

(2019年12月31日現在)

- 商号 シスメックス株式会社
SYSMEX CORPORATION
- 設立年月日 1968年2月20日
- 資本金 127億8,689万円

- 格付け AA- (R&I: 格付投資情報センター)
- 従業員数 9,105名(連結) 2,608名(単独)
*嘱託・パートタイマーなどを含む
- 主な事業内容 臨床検査機器、検査用試薬ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

■公告方法

当会社の公告方法は、電子公告とします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
電子公告掲載ホームページアドレス www.sysmex.co.jp/ir/

- 上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
- 証券コード 6869
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
- 同連絡先(郵便物送付先・電話照会先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777 (通話料無料)

お知らせ

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取り扱いいたします。 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。